



「私の決意」



「進めます！希望の持てる岩手へ！」

岩手県議会議員 千葉 伝（八幡平選挙区）



平成7年に当選以来、連続6期23年が経過しました。私たちの住む岩手は豊かな自然に恵まれ、限らない可能性を秘めた郷土です。その岩手は今、少子高齢化、人口減少が進み、種々な課題を抱えており、課題解決に取り組み、ふるさとを守っていかねばなりません。東日本大震災・津波の復興、ILCの誘致実現、地域間格差の是正、農林・畜産の振興、地域医療の確保、教育・スポーツ振興等、これまでの経験・実績を生かし、希望の持てる岩手を創る為全力を尽くします。

「復興と党勢拡大に全力で取り組む！」

岩手県議会議員 岩崎 友一（釜石選挙区）



参議院議員通常選挙、統一地方選挙では、自民党公認・推薦候補予定者全員の当選に向けて全力を傾注し、自民党岩手県連が大きく前進する一年とする為、幹事長としての職責を全うする覚悟です。東日本大震災津波からの復興の推進を最優先に、ILCの誘致、ラグビーWC釜石開催の成功、農林水産、商工、観光など本県経済の活性化に重点を置いた活動を進めます。また、子育て世代の一人として、周産期医療体制の充実や待機児童の解消等、子どもを生み育てやすい環境の整備に向けた政策の立案と推進に努めてまいります。

「震災復興と均衡ある県を実現！」

岩手県議会議員 佐々木 茂光（陸前高田選挙区）



東日本大震災津波から早いもので8年が経過しようとしています。被災地の復旧復興事業は80%〜90%の進捗にありながら、その実感は低く、また時間の経過と共に地域コミュニティの再構築や住宅再建、浸水域の利活用等新たな課題が山積してきますが、必ず復興完遂、地方創生の次ステージに向け引き続き取り組んでいきます。更には、沿岸被災地と内陸の格差是正、均衡ある県土の実現に向け「我らが声」をしつかり届けていく覚悟で臨んでまいります。

「ネット選挙」研修会を開催



詳しい事例から、ネット選挙について学ぶ参加者

県連青年局と市町村議員連絡協議会の共催により、去る2月3日、盛岡市内において「ネット選挙研修会」が開催され、県議会議員、市町村議会議員や支部等から約60人の方々が出席されました。平成25年の参議院選挙より解禁された「インターネットを使った選挙運動」により、候補者本人、政党等はもちろん、有権者の方もインターネットを活用して選挙運動を行うことができるようになっております。本年は、統一地方選挙の実施により各級地方選挙が予定されており、地方議員にとっては2度目のインターネット選挙ですが、現状では十分な対応が出来ていない候補者が多く、

新たな支持層を獲得するためには、候補者のスキルアップでネット選挙の備えを万全にする必要があることから研修会を開催しました。講師には慶応義塾大学大学院政策メディア研究科特任准教授の田代光輝先生をお招きし、インターネットを使って出来る事、注意を払わなければならない事、各種端末の普及によるネット選挙解禁の影響等、詳しく解説いただき、大変有意義な研修会となりました。

岩手県議会議員選挙

自由民主党 追加公認決定

○遠野選挙区【公認】



工藤 勝子（74）
現・（4期）

今年の9月10日の任期満了に伴う、岩手県議会議員選挙に向け、県連選挙対策委員会役員会で、追加公認1名が決定されました。2/1現在、公認12名・推薦1名が決定しております。

【注】氏名、年齢、当選回数、経歴